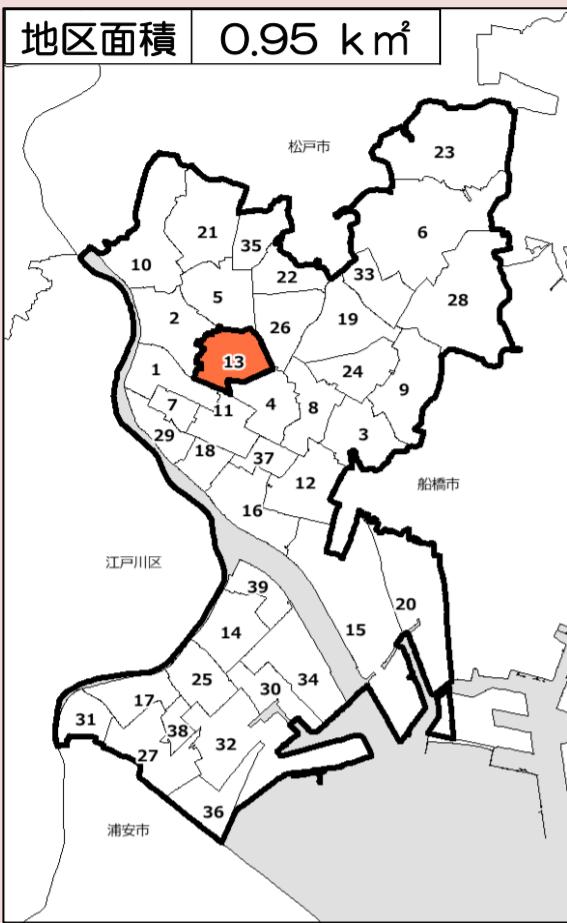


# 13 菅野小学校区

## (1) 位置



## (2) 地区概況

### ◆位置

菅野小学校区は市のやや北西部に位置し、地区内を真間川が横断しています。また、地区の東側は国分川に面し、真間川と国分川の合流地点があります。

### ◆地形・土地利用

地形は、氾濫平野で構成されています。地区的東側は第一種低層住居専用地域等の住宅地となっており、戸建て住宅が建ち並んでいます。

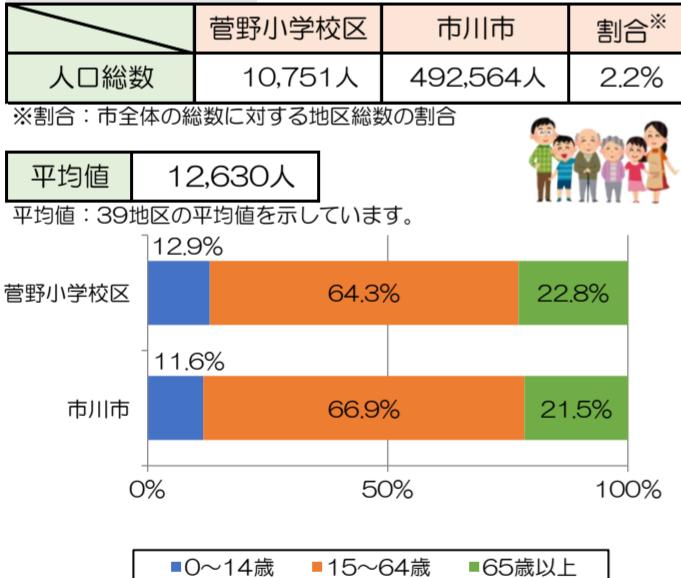
### ◆都市基盤

中央には南北にかけて外環道路が通っています。また、地区的南側には京成本線が通っており、菅野駅があります。地区内には、JR市川駅とJR本八幡駅を往復する京成バスが通っています。

## (3) 人口・建物概況

### ◆人口

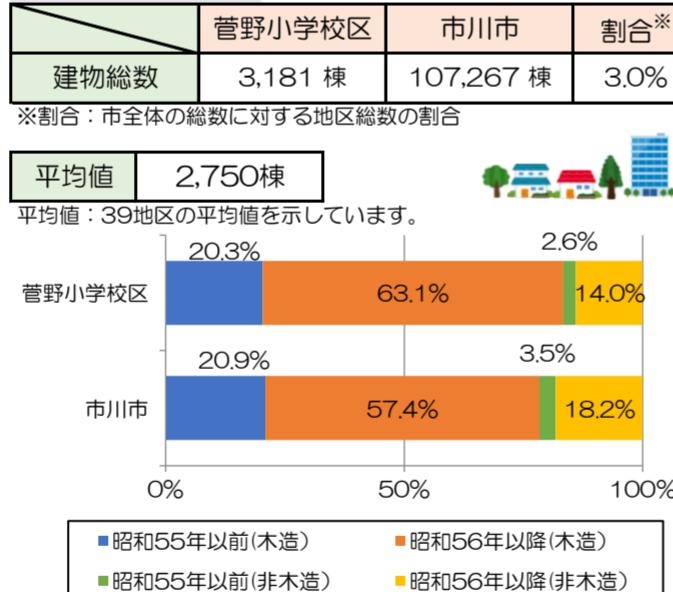
#### 年齢別割合



地区的人口は、全地区の平均人口より少ないです。市全体と比較すると0~14歳と65歳以上の割合がやや高く、現役世代がやや少ない地区となっています。

### ◆建物

#### 構造別割合



地区的建物は平均よりやや多いです。市全体と比較すると昭和56年以後の新耐震基準の建物割合がやや高いです。また、木造建物がやや多い地区となっています。

## (4) 災害リスク評価

市川市防災カルテ < 菅野小学校区 >

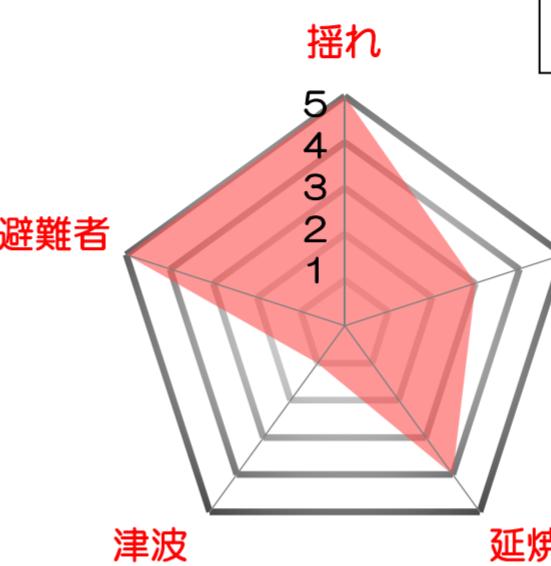
災害に対する弱み（マイナス）については、5に近づくほど危険度が高くなり、災害に対する強み（プラス面）については、5に近づくほど安全度や充足度が高くなります。災害リスクは、後述の地震被害想定や浸水想定の結果、各地区的現況データを用いて相対的に評価しています。

### ◆災害に対する弱み（マイナス面）

地震



避難者

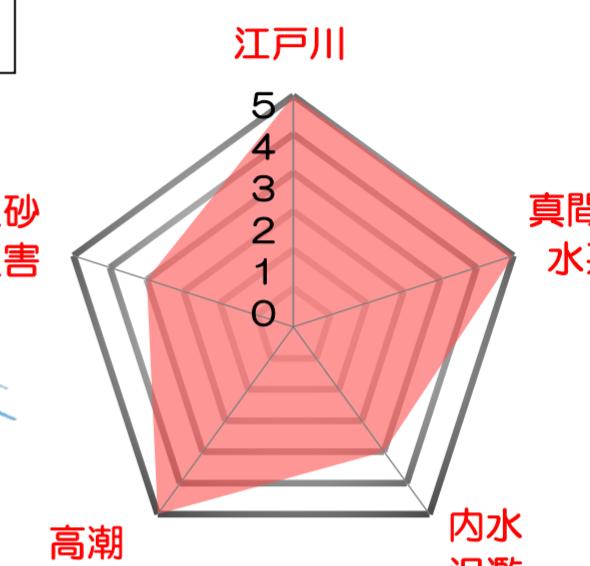


津波



液状化

風水害



※土砂災害は地震の揺れでも発生する場合があります。

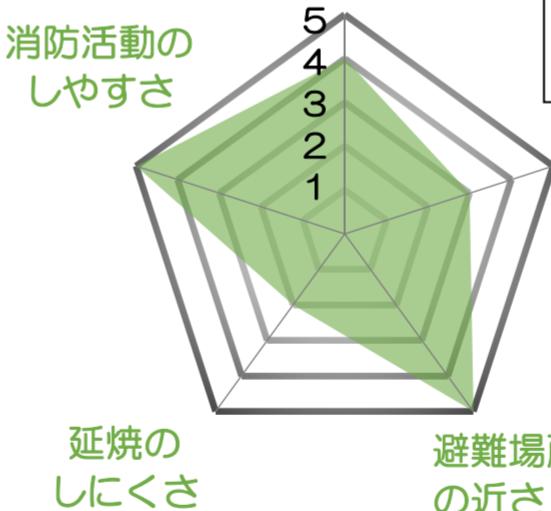
### ◆災害に対する強み（プラス面）

まちの安全性

地域の防災力



避難経路



延焼のしにくさ

緊急車両通行可能  
未来の防災リーダー



避難場所の受入力

避難場所等の近さ  
消防活動のしやすさ

防災活動力  
防災組織力

### ◆評価

菅野小学校区は、地震災害については、全域で震度6強の揺れが予測され、揺れ、延焼による危険性が高く、避難者が多く発生する傾向にあります。風水害については、地区内に真間川が流れていることから、真間川水系の氾濫による浸水の危険性が高く、江戸川の氾濫、高潮による浸水の危険性も高い傾向にあり、地区内に急傾斜地崩壊危険区域があることから土砂災害による危険性もあります。

一方で、まちの安全性については、避難経路、避難場所等の近さ、消防活動のしやすさは高い傾向にあるものの、延焼のしにくさは低い傾向にあります。また、地域の防災力については、避難場所の受入力、防災組織力、防災活動力、未来の防災リーダーは高い傾向にあります。

## (5) 防災関連施設

### ◆避難所及び福祉避難所

施設名	福祉避難所	施設名	福祉避難所
菅野小学校	-		
菅野公民館	-		
日出学園	-		

### ◆避難場所

名称
菅野小学校
菅野公民館
日出学園
国府台女子学院
須和田自治会館（六所神社）

### ◆地区内の主な施設

種別	施設名	施設名	種別	施設名
要配慮者利用施設(公設)	菅野保育園		医療救護所	東京歯科大学市川総合病院前
			関連施設	なし



## (6) 被害想定結果（地震・風水害）

### ◆地震災害（被害を受ける割合）

想定項目		菅野小学校区	市川市全体
建物被害	全壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊）	6.5%	4.8%
	半壊棟数の割合（揺れ・液状化・急傾斜地崩壊）	13.4%	11.8%
	焼失棟数の割合	23.7%	10.2%
	浸水棟数（津波）の割合	0.0%	1.1%
人的被害	死者の割合	0.3%	0.1%
	負傷者の割合	0.7%	0.4%
	避難者の割合	33.2%	20.0%



### ◆風水害（被害を受ける割合）

想定項目		菅野小学校区	市川市全体
建物被害	浸水棟数（江戸川）の割合	86.7%	52.9%
	浸水棟数（真間川）の割合	96.6%	47.7%
	浸水棟数（内水）の割合	78.4%	57.9%
	浸水棟数（高潮）の割合	92.0%	64.9%



市全体の結果と比較すると、地震災害については、木造建物がやや多く、地震の揺れが特に強いこともあり、焼失などの建物被害は多い傾向となっています。また、人的被害についても、死傷者、避難者ともに市全体より多くなっています。

一方で、風水害については、江戸川の氾濫、真間川水系の氾濫、内水氾濫、高潮の浸水による影響が大きく、市全体と比較して浸水棟数は多くなっています。

## (7) 防災上の課題

市川市防災カルテ <

菅野小学校区

>

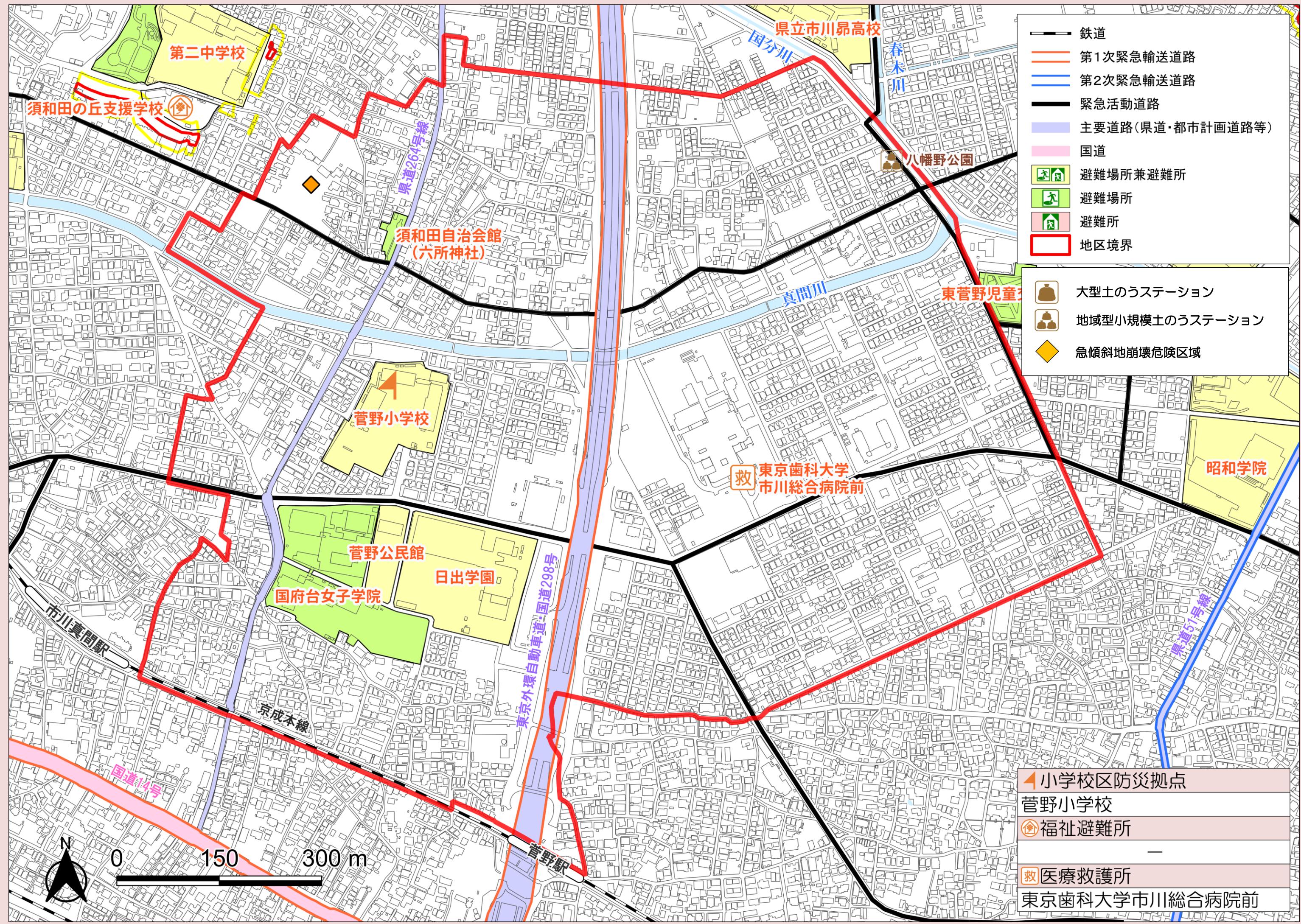
項目	課題
地震	地区全域において、震度6強の揺れが予測され、延焼による危険性が非常に高いことから、耐震対策や延焼対策、初期消火対策が重要です。
風水害	地区内に真間川が流れていることから、河川氾濫による浸水被害や内水氾濫の恐れがあり、また、高潮による浸水の恐れがあることから、浸水対策や円滑な避難に備えることが重要です。
まちの安全性	地区には、延焼遮断帯となる空地や耐火建築物の占める割合が低いことから、初期消火の対策が重要です。
地域の防災力	地区では、地域の防災力が高い傾向を示しているものの、災害発生時は避難所がやや混雑する可能性があり、在宅避難ができるよう自宅の備えを整えることが重要です。

## (8) 防災対策の方向性

項目	取組の方向性
地域の取組	<p>災害時に負傷者や火災が発生した場合、即座に応急手当や初期消火ができるように、高い防災組織力を活かし、地域で初期対応の訓練を実施するなどの対策が効果的です。</p> <p>地震が発生すると避難者が多く発生することから、避難所は近隣含め充足度が低いため、在宅避難の準備や指定避難所以外の避難先の確保について、あらかじめ地区の中で情報共有を行うことが重要です。</p>
個人の取組	<p>地震に対する備えとしては、市の助成制度である「耐震改修助成制度」を利用した耐震改修工事による自宅の耐震化対策や、「あんしん住宅助成」を利用した感震ブレーカーの設置を進めるとともに、家具の固定など自宅（家庭）の防災性を向上させることができます。</p> <p>一方、風水害に対する備えとしては、同じく「あんしん住宅助成」を利用した防水板の設置や、土のうステーション等を活用した浸水対策とともに、いざという時円滑に避難できるよう、市からの情報収集方法や浸水想定区域外の避難場所等をあらかじめ水害ハザードマップ等で確認しておくことが効果的です。</p>

## (9) 防災マップ

市川市防災カルテ < 菅野小学校校区 >



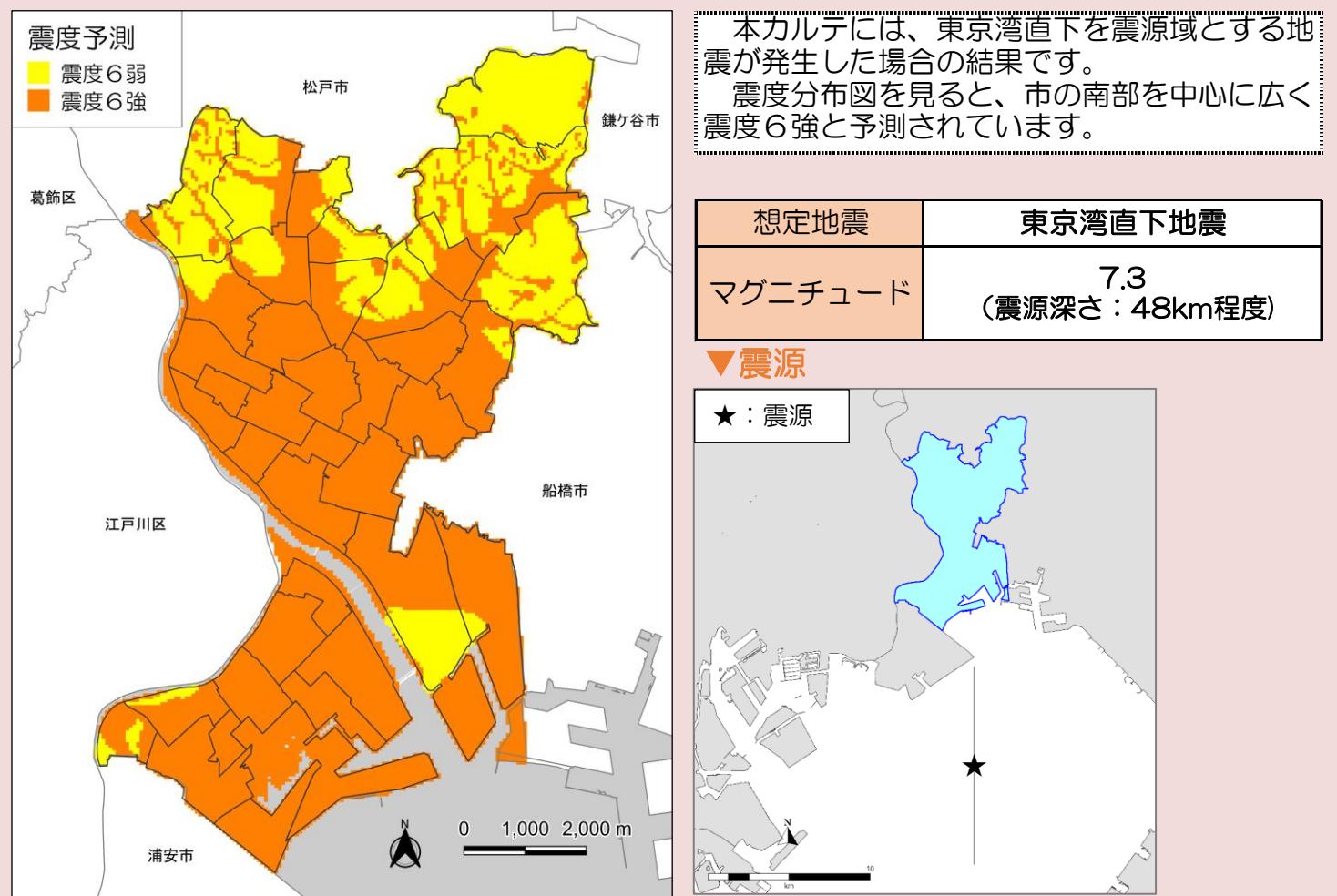
## (10) 基礎資料

市川市防災カルテ <

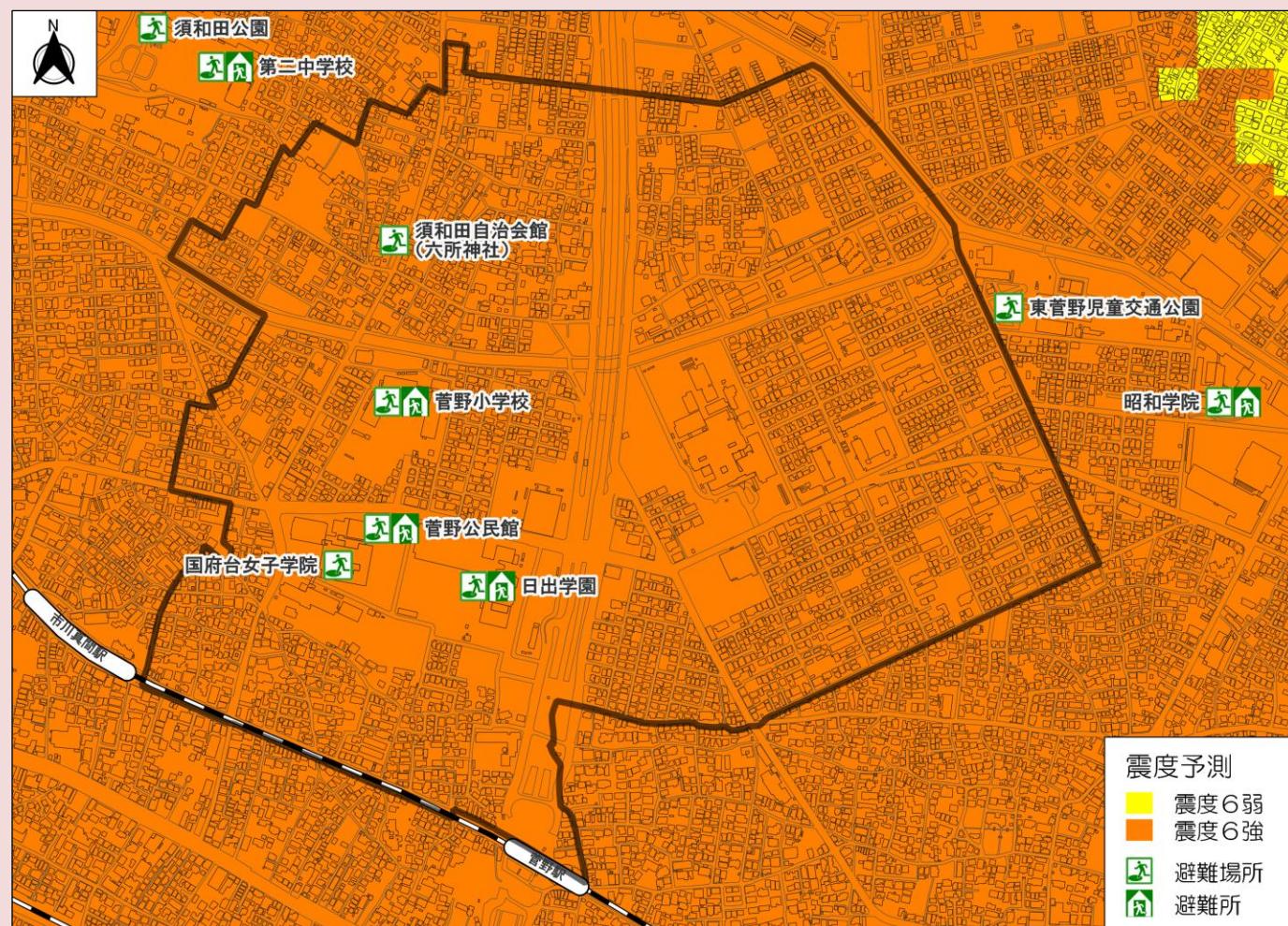
菅野小学校区

>

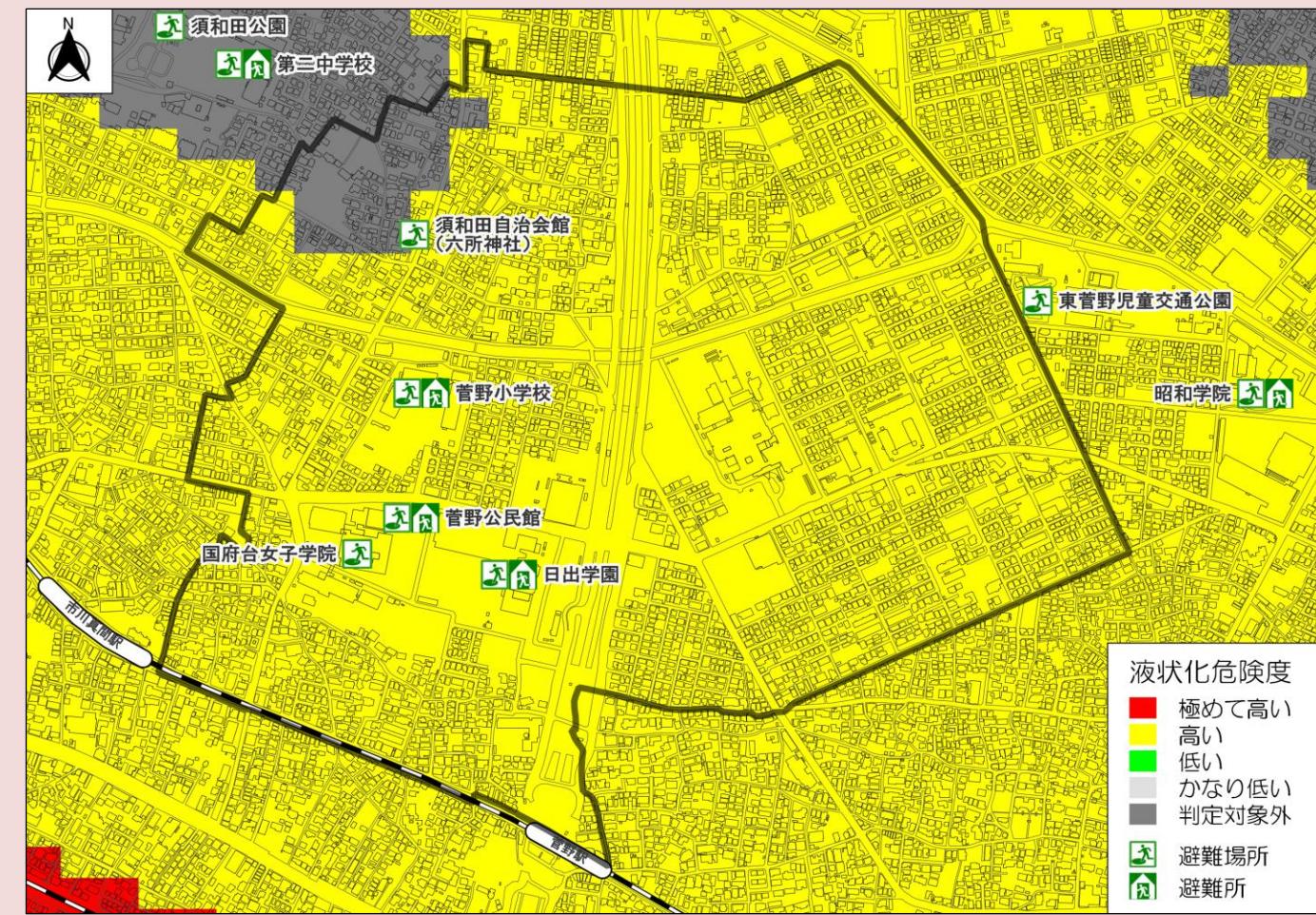
## ①市全域の震度分布図



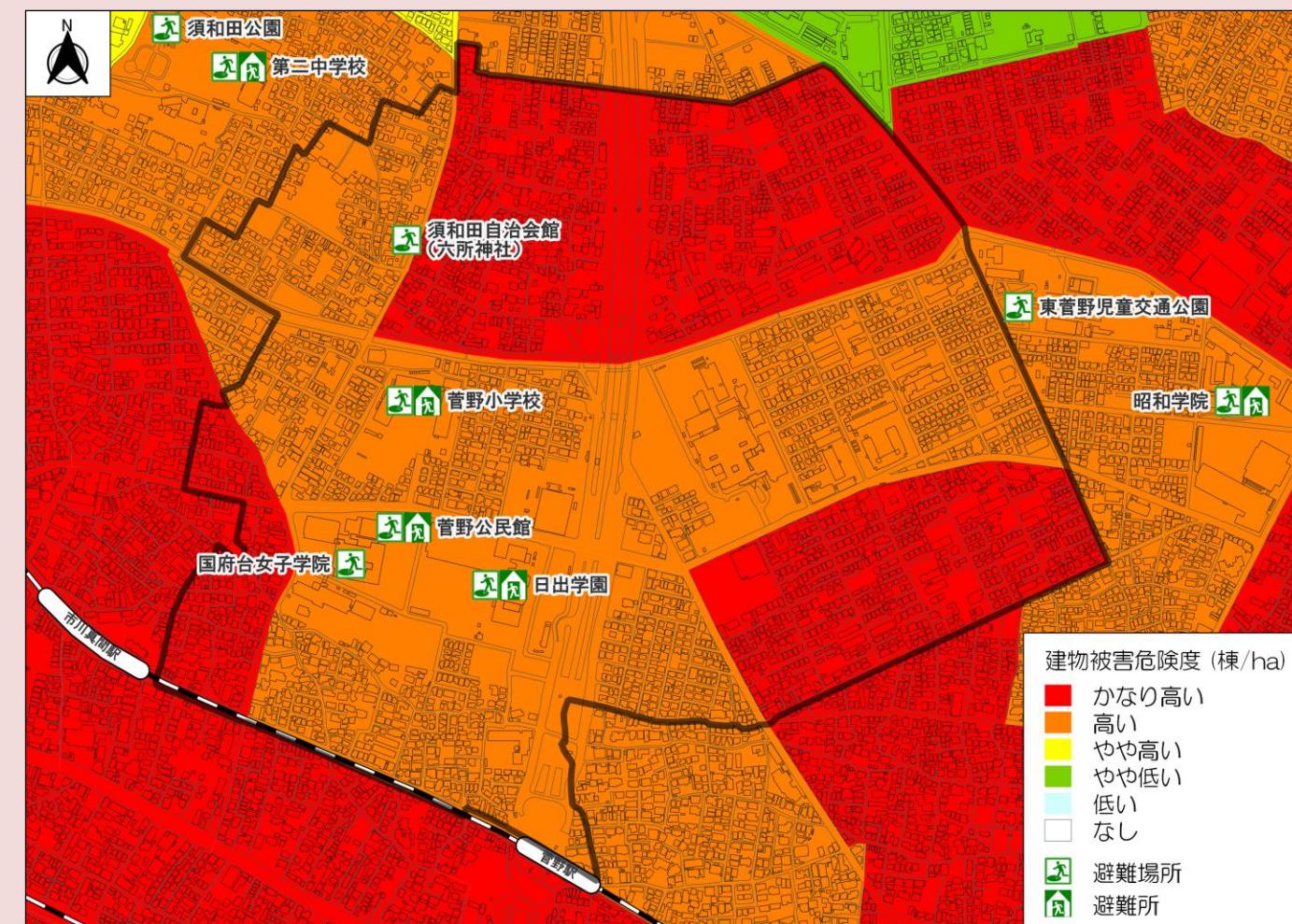
## ②震度分布図



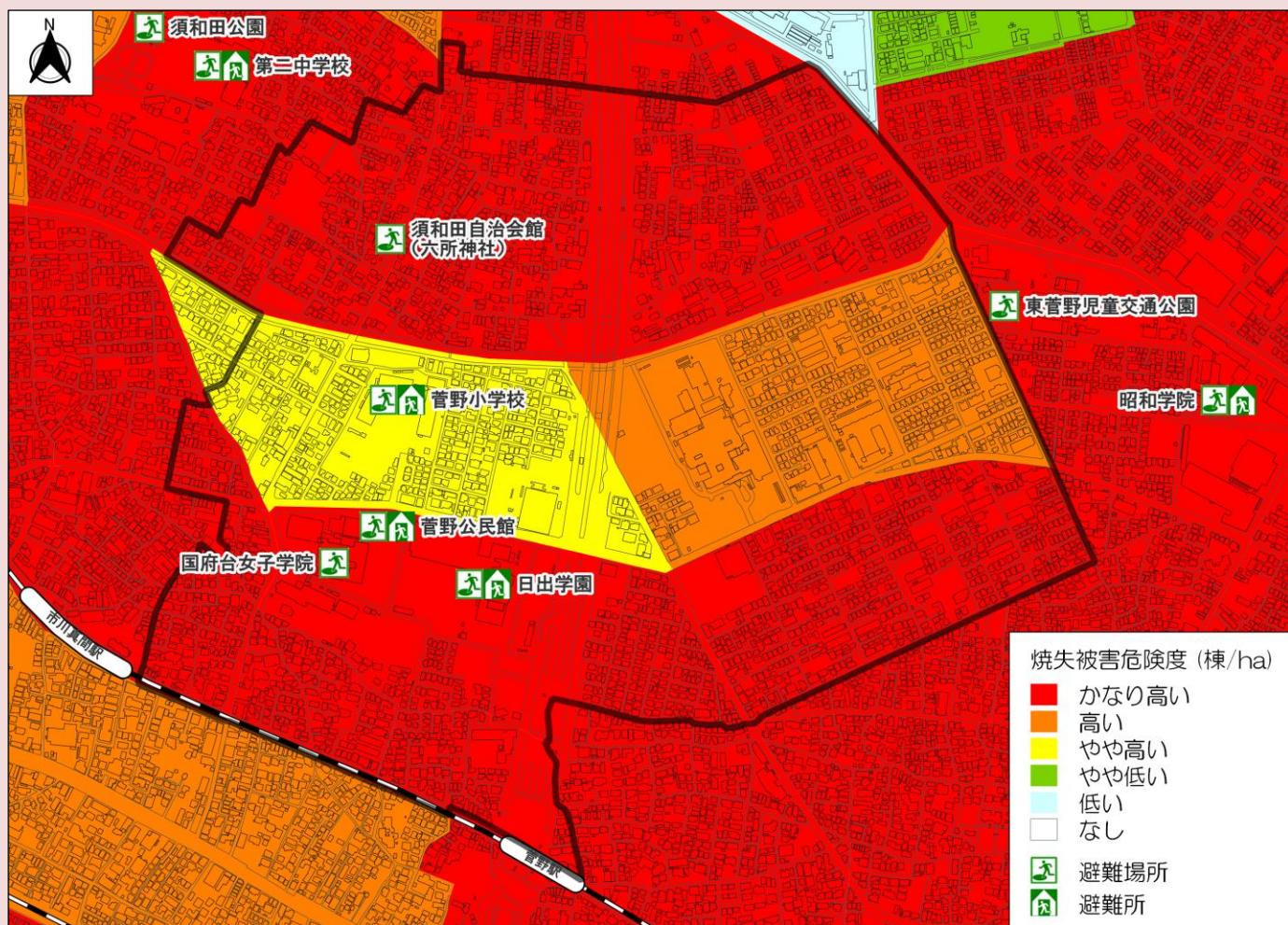
### ③液状化危険度



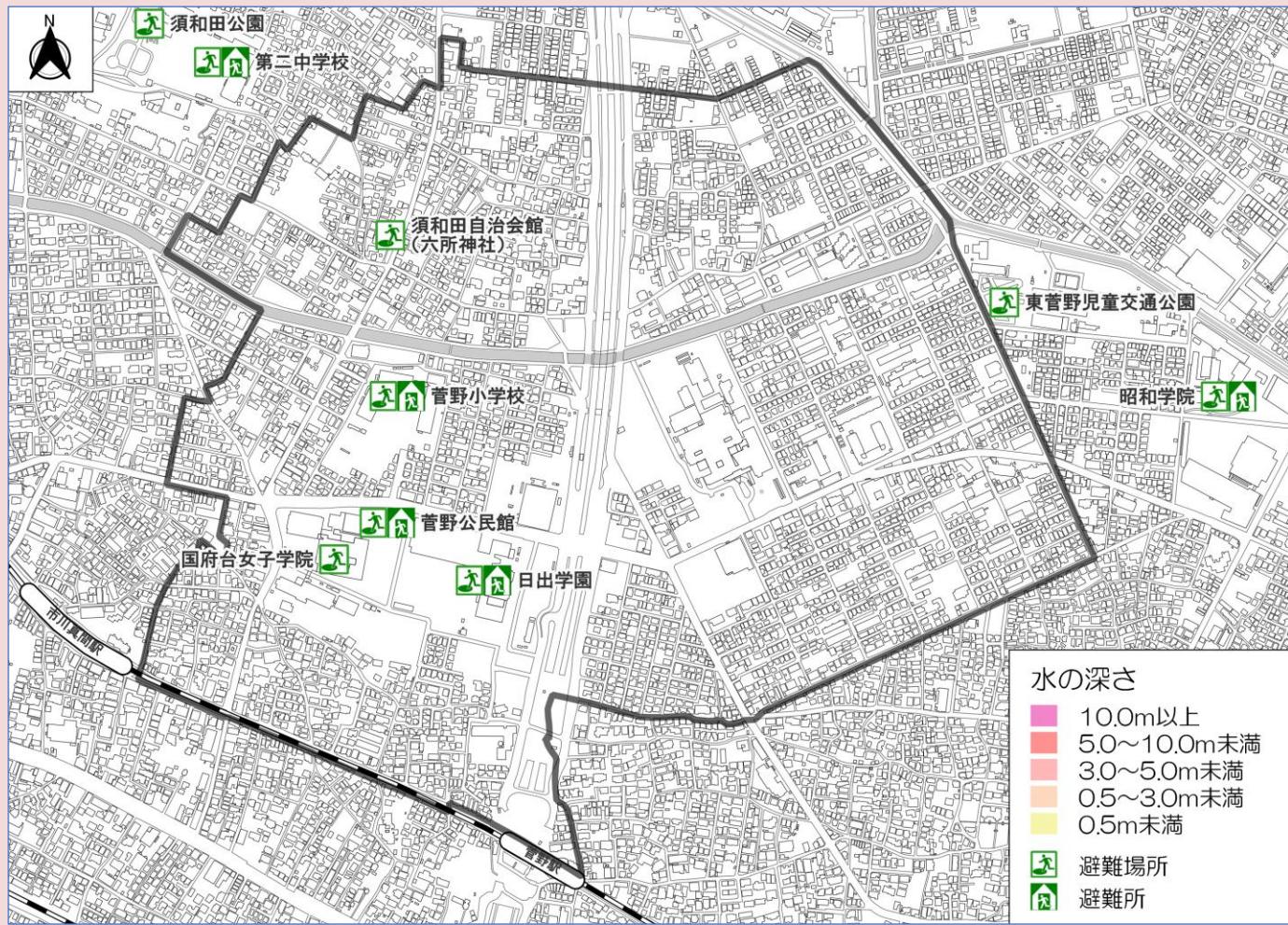
#### ④建物被害（揺れ・液状化による被害）



## ⑤建物被害（延焼による被害）



## ⑥津波による影響



※津波の河川遡上による市街地への影響はありません。

平成24年4月：千葉県

## ⑦浸水想定の概要

江戸川の氾濫及び真間川の氾濫、内水の氾濫、高潮による浸水想定区域を示しています。

災害時にすばやく避難できるようにあらかじめ浸水想定区域外の避難所及び避難場所について確認しましょう。

また、避難経路上の浸水状況も確認しておきましょう。

避難にあたっては、市指定の避難所にこだわらず、浸水しない地域の知人宅、職場などに避難することも有効です。

### 水の深さ

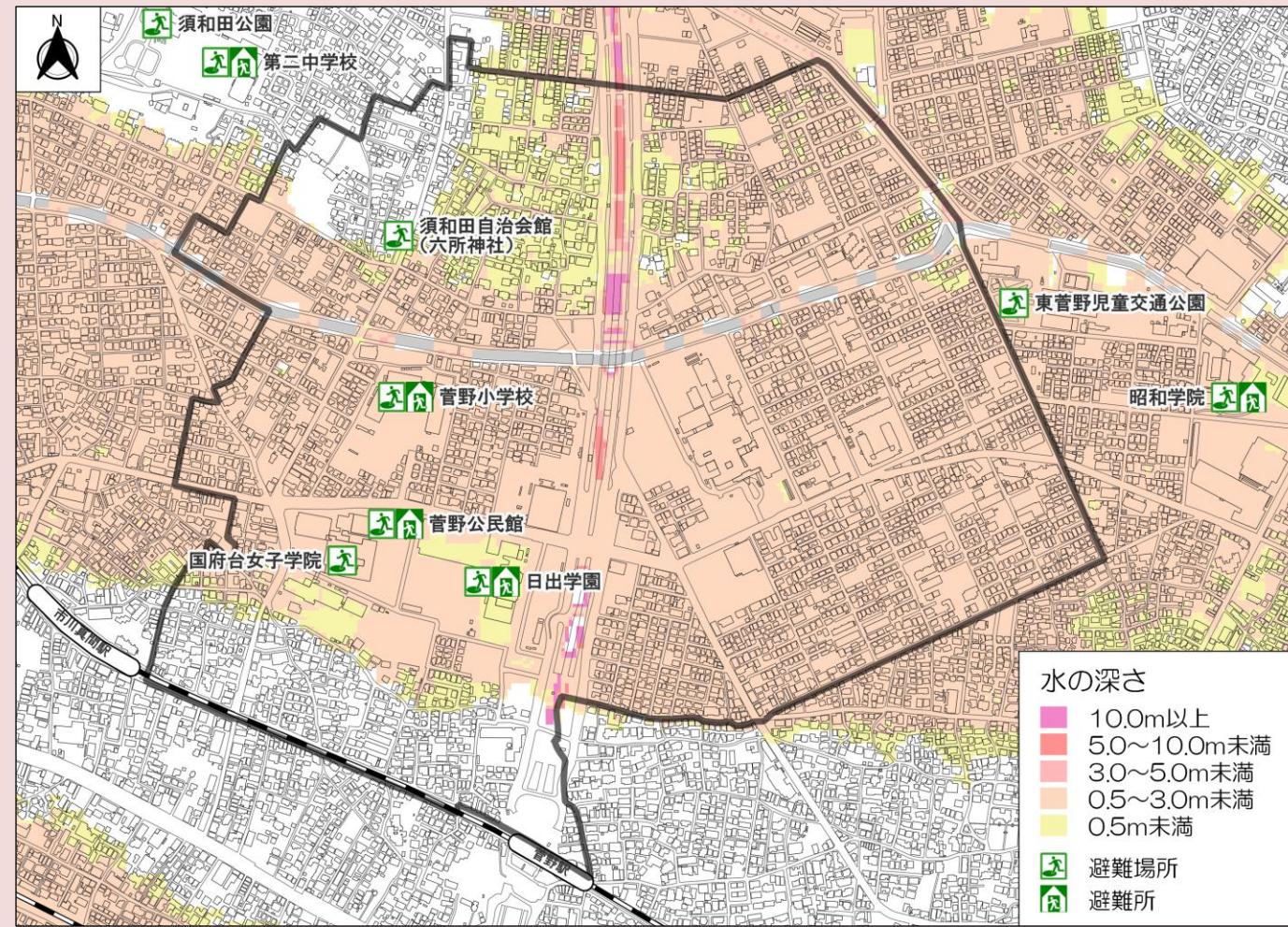
- 水の深さが5.0m以上 (Red)
- 水の深さが3.0~5.0m未満 (Pink)
- 水の深さが0.5~3.0m未満 (Orange)
- 水の深さが0.5m未満 (Yellow)

### 浸水の目安



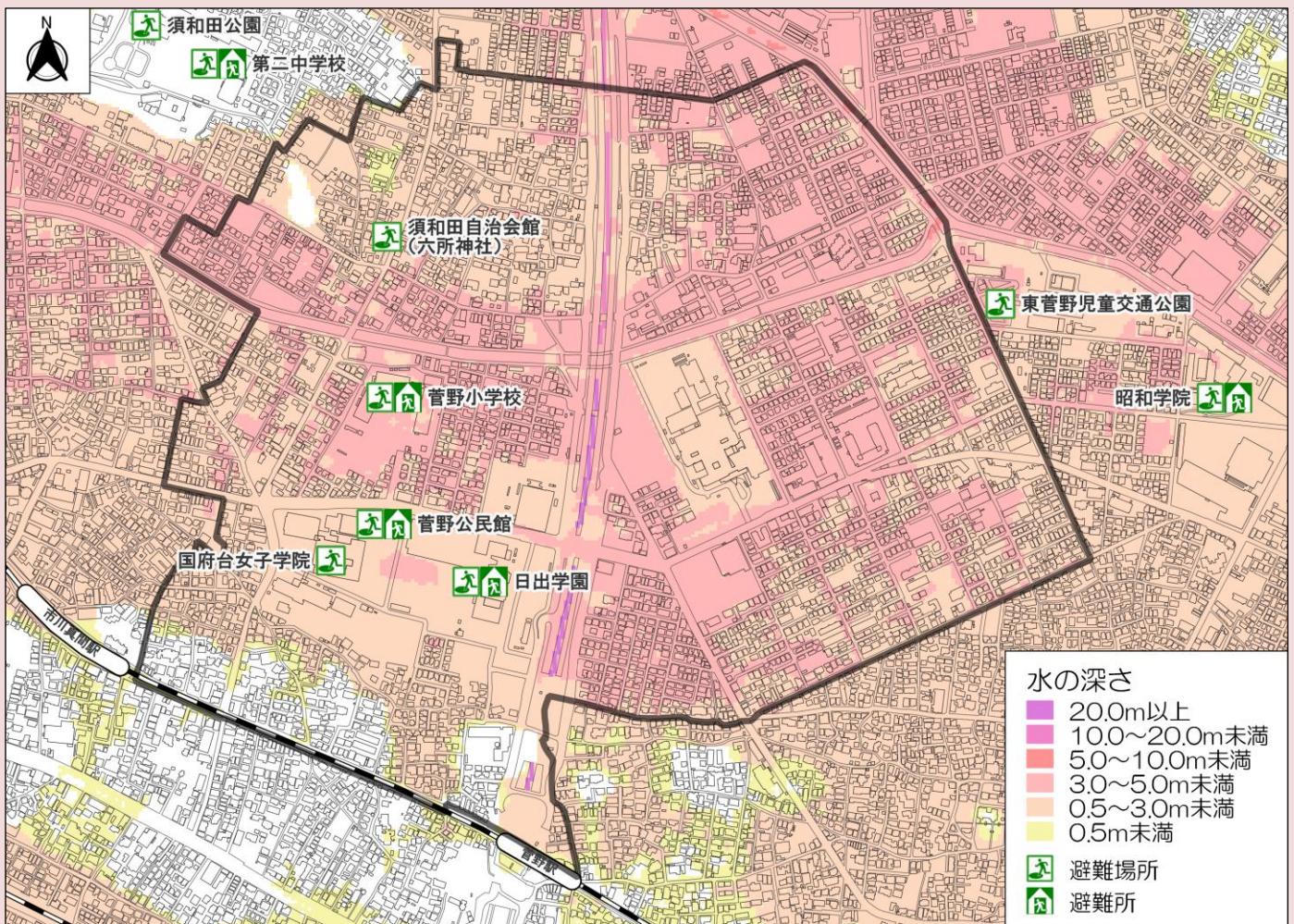
※浸水の凡例区分及び配色については市川市で任意に設定しています。

## ⑧洪水（江戸川）



平成29年7月：国土交通省

## ⑨真間川水系・内水氾濫



## ⑩高潮

